

あさか外来通信

H28.11 月号

歯が抜ける…？
ホントは怖い!!

歯周病

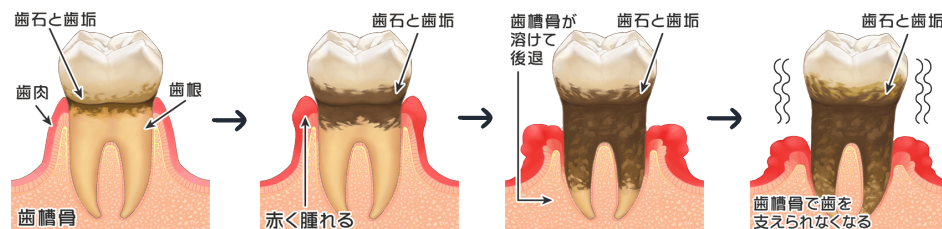


成人の約8割が患っていると言われていた歯周病。

実は、**歯を失ってしまう原因の第一位**と言われています。

それだけではなく、歯周病を進行させる原因となる“**歯周病菌**”が増えると、「**心臓病**」「**肺炎**」「**糖尿病**」「**早産**」など、全身の疾患にも影響を及ぼすということが分かっています。

そもそも歯周病とは…



歯は、“**歯肉**”と“**歯槽骨(しろうこつ)**と呼ばれる骨”に支えられています。歯周病が進行すると、歯槽骨が溶け、歯肉が後退し、支えがなくなった歯はグラグラ揺れてきて、最終的には抜け落ちてしまいます。

歯周病は糖尿病などと同じ「慢性疾患」の一つで、**一度進行すると完全に元に戻すことは出来ない**と言われています。

痛みや腫れなど自覚症状がないことが多く、進行した歯周病に気付いた時には、もう抜歯せざるを得ない状況…という方も少なくありません。

また、歯周病はしっかり治療を行えば、ご自身の歯を守るだけでなく、気になる“**口臭**”の改善にも繋がります。

歯周病の原因

1. 口腔内環境

歯周病の主な原因は、ご自身による**ブラッシング不足**です。

歯磨きがうまく出来ていないと、お口の中にプラーク（歯垢）と呼ばれる細菌のかたまりが付着し、やがてそれが歯石となり、歯ブラシでは取れなくなります。

2. 生活習慣

喫煙や疾病、ストレス(歯ぎしり等)、妊娠によるホルモンバランスの変化でも、歯周病を進行させてしまう場合があります。

特に、**糖尿病**と歯周病には深い関係があり、片方が悪化すると、もう片方も悪化してしまう傾向があると言われています。

歯科治療では、主に「**口腔内環境**」の改善を目指します！



① 検査

先の尖った器具を歯と歯肉の間に入れて、歯肉のポケットの深さや、出血の状態を確認します。また汚れの付着具合、揺れている歯がないかも確認します。必要に応じてレントゲン撮影も行います。

② スケーリング (歯肉より上の歯石除去)

超音波スケーラーでお水を出しながら、歯の表面についた歯石を除去します。上下の歯のスケーリングが終わり、歯肉が落ち着いたらもう一度検査を行います。



③ SRP (歯肉より下の歯石除去)

2度目の検査でも改善がみられなかった場合は、手用のスケーラーで歯肉の中の歯石を除去していきます。(負担軽減の為、数回に分けて行います。) 痛みがある場合は麻酔を使用します。

上記治療で改善がみられない場合は、外科治療をお勧めする場合がございます。

歯周病は生活習慣病です。ご自身での毎日の歯磨きが1番大切となります。

例え、毎週しっかり歯科治療を受けていたとしても、普段の歯磨きがしっかり出来ていなければ治療の効果は出ません。

衛生士さんからのブラッシング指導で、普段の歯磨きを見直しましょう！



過去の外来通信・医院についてはこちら

浅賀歯科医院

